

21世紀 環境の世紀へ  
広域ごみ・汚泥処理施設整備事業の経緯

～循環型社会の実現を目指して～

北但行政事務組合

1

1 これまでの主な経緯

◆国及び兵庫県の動き

ダイオキシン類の発生による環境汚染が社会問題



国：ごみ処理に係るダイオキシン類の削減対策

：ごみ処理の広域化計画

県：兵庫県ごみ処理施設整備基本方針

兵庫県ごみ処理広域化計画



リサイクルの推進、ダイオキシン類の削減

余熱利用等の促進、ごみ処理事業コストの縮減



ごみ処理の広域化の推進（県下25ブロックに広域化）

## ◆北但1市10町の動き

- ・北但行政事務組合（豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町）
- ・矢田川流域衛生一部事務組合（香住町、村岡町、美方町）
- ・美西衛生施設一部事務組合（浜坂町、温泉町）

### 3組合が個別でごみ処理を実施



リサイクルの推進、ダイオキシン類の削減  
余熱利用等の促進、ごみ処理事業コストの縮減

### 北但1市10町が広域化して施設整備

※市町合併により1市2町（豊岡市、香美町、新温泉町）に再編

3

## 2 広域化の理由とメリット

### (1)ダイオキシン類の発生抑制

- ・小規模間欠運転施設ではダイオキシン類が発生しやすい300°C域を毎日通過
- ・連続運転施設ではダイオキシン類の発生量を抑制

### (2)トータルコストの縮減

- ・収集運搬費は増加、建設費・運営費は縮減
- ・結果として、広域化によりトータルコストを大きく縮減

### (3)熱回収率の向上

- ・発電が可能となり、熱回収率が向上

4

### 3 ごみ処理施設の現状(中間処理施設) 豊岡清掃センター(豊岡市)

- 連続運転式焼却炉(ストーカ炉)
- 平成2年2月竣工(16年経過)
- 140t/24h (70t/24h × 2炉)

5

### 矢田川レインボー(香美町)

- 間欠運転式焼却炉(ストーカ炉)
- 平成6年3月竣工(12年経過)
- 28t/8h(14t/8h × 2炉)

6

### 新温泉町クリーンセンター(新温泉町)

- 間欠運転式焼却炉(ストーカ炉)
- 平成4年3月竣工(14年経過)
- 30t/8h(15t/8h×2炉)

7

### 広域ごみ・汚泥処理施設(新施設)

豊岡清掃センター	140t/日
矢田川レインボー	28t/日
新温泉町クリーンセンター	30t/日
計	198t/日



1施設に統合  
▲24t/日

新施設 174t/日  
(ごみ分157t、汚泥分17t)

8